



# 大阪医学統計学セミナー 第3回

Osaka Biostatistics Seminar

11月14日 (火)

18:00~19:30



OSAKA UNIVERSITY

場所

CoMIT 4F 会議室B,C

最先端医療イノベーションセンター

<http://www.comit.med.osaka-u.ac.jp/>

## 正方分割表における対称性の モデルと分解について

講演者：倉上 弘幸 (未来医療開発部)

概要：

本発表では、行変数と列変数が同じカテゴリー、同じ順序を持つ正方分割表を取り扱う。行と列に左右それぞれの視力を配置した表や、行に父親の職業、列にその息子の職業を配置した表などがその例にあたる。

2元分割表解析において、多くの場合、行変数と列変数が独立かどうか（関連性がないかどうか）に関心がある。しかし今回取り扱う正方分割表では、分割表の主対角セルに観測度数が集中するため、変数間の独立性は成り立たないことが多い。そこで独立性に代わり、対称性や非対称性に関する解析が行われてきた。

今回は対称性に関するモデルとその分解について、Kurakami, Yamamoto and Tomizawa (2011)と、Kurakami, Tahata and Tomizawa (2013)の結果を紹介する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科・医学部 医学統計学講座

E-Mail : [office@biostat.med.osaka-u.ac.jp](mailto:office@biostat.med.osaka-u.ac.jp) TEL : 06-6879-3301